

- ワンセグ放送のプレビュー検証における機能拡充について
～大阪通信・放送融合技術開発テストベッドセンター～
 - 平成19年12月20日
-

独立行政法人情報通信研究機構(以下「NICT」という。理事長:宮原 秀夫。)の大阪通信・放送融合技術開発テストベッドセンターは、通信・放送融合技術の開発を加速・促進し、通信・放送融合サービスの開発・普及を図ることを目的として、NICTが整備・運営する共同利用施設です。

このたび、上記テストベッドセンターの利用者ニーズに対応するため、既存システムにワンセグ放送に対応した通信・放送融合サービスの評価・検証を支援する機能を拡充しました。

ワンセグ放送におけるデータ放送には、(1)本編映像と共に放送にて送られるデータ放送と、(2)通信網を利用してデータを取得するデータ放送があり、既に対応している(1)に加え、今般、(2)の通信網を利用するデータ放送の評価・検証するための機能*を拡充しました。平成19年12月3日から試験運用を開始しておりましたが、本格運用を12月20日から開始することとしましたのでお知らせします。

* ワンセグ放送のプレビュー検証支援機能の拡充ポイント

「ワンセグ放送対応通信連携疑似環境装置」の導入

本装置の導入によって、ワンセグ放送における通信部分の疑似環境が構築でき、実環境の通信網を利用することなく、ワンセグ放送向けデータ放送コンテンツの評価・検証等をワンセグ受信端末にて行うことができるようになります。

<広報 問い合わせ先>

総合企画部 広報室

栗原 則幸

Tel:042-327-6923

Fax:042-327-7587

<担当部門 問い合わせ先>

連携研究部門 特別研究グループ

博多 宣雄、砺波 修一

Tel:042-327-6013

Fax:042-327-5604

<利用に関する 問い合わせ先>

大阪通信・放送融合技術開発テストベッドセンター

平山 博史、山内 智陽

〒556-0021

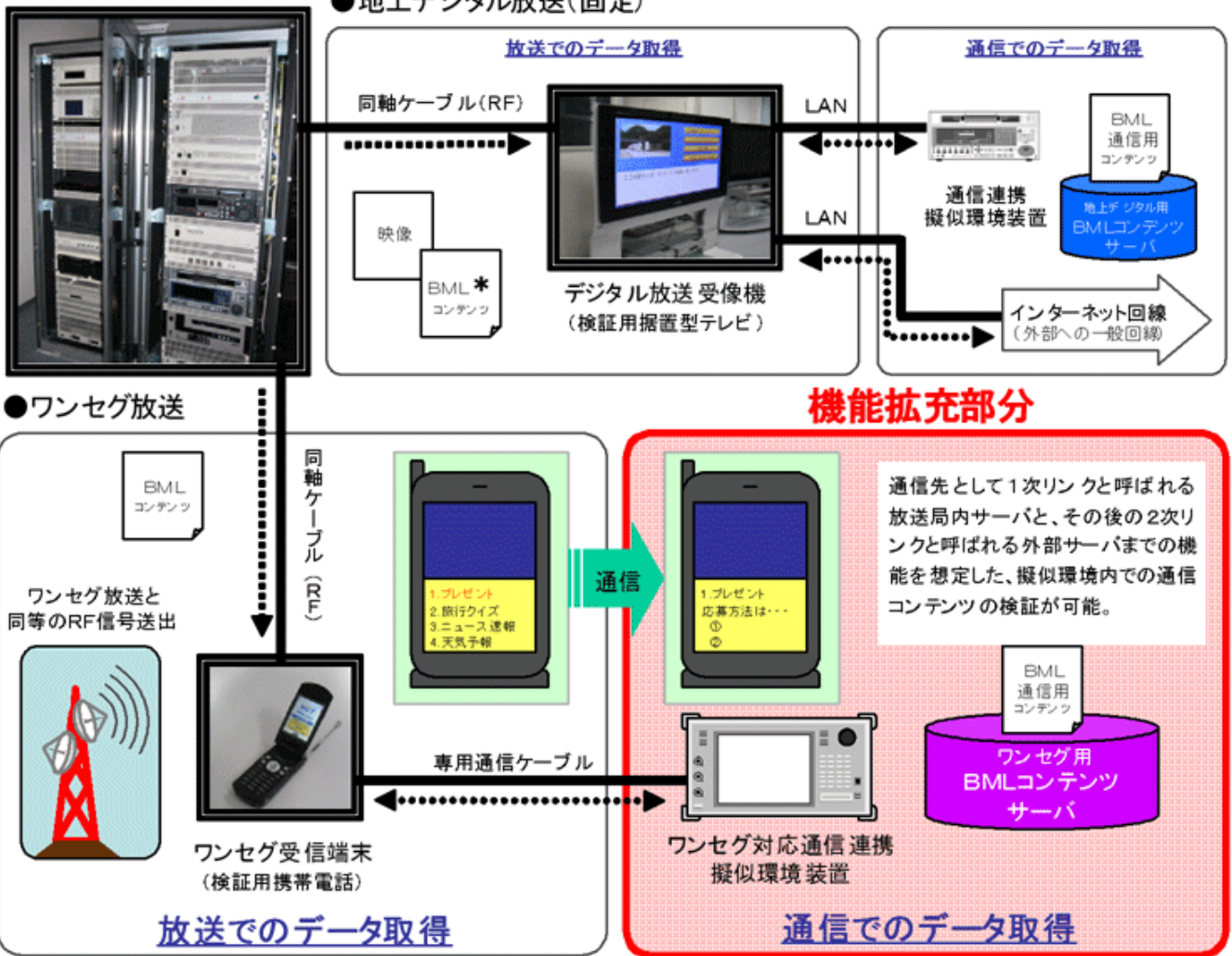
大阪市浪速区幸町2-7-6 大阪桜川ビル5F

Tel:06-6563-2950

URL:<http://www-osaka-yugo.nict.go.jp>

通信・放送融合実証システム

<配信実証装置>



* BML: Broadcast Markup Languageの略。ARIB(社団法人電波産業会)によって策定された、データ放送向けのページ記述言語。